

宮城県壮年テニス連盟

会 報

第 3 号

昭和62年7月13日 発行

二年目にあたり

委員長 神吉寛一

昨年春、本連盟が発足しましたところ、予想以上の多くの方々のご賛同を頂き、一年間を無事運営することができましたことはご同慶の至りです。これは委員、幹事が毎回綿密に計画を練り、献身的に大会の運営に当たって下さったことと、一方では会員の皆様が多数熱心に参加して下さったことの相乗効果の結果であると思います。

一年間を通じて感じたことは、以前に比べて高齢になってもテニスのパワーとテクニックが十分に維持され、その結果平均テニス年齢が著しく延びていることです。また女性のテニス愛好家が多くなっていくことも注目すべきことです。ことにご夫婦でテニスを楽しんでおられる様子を見ますと羨ましい限りです。わがテニス連盟は健康都市仙台にふさわしい連盟ではないかと思えます。健康であるときにこそ健康に対して十分な投資をすべきものであり、それは贅沢ではなく必要事項であるのです。

連盟発足一年目は暗中模索的に運営した点もありましたが、二年目にこの連盟がしっかり根をおろし、会員諸氏の健康とテニスを通して互いに一層親交を深めることに役立つことができますよう願っています。

◇ 寄 稿 ◇

宮城野原県営テニスコート の整備・拡充を願って

良友会 安田 勇

近年、私は年に1～2回県外でテニスをする機会があり、その度にほかの県のテニスプレイヤーがうらやましいと思うことがあります。それは、各地に全国大会を開けるような、大規模で、よく整備され、運営されている市営または県営のテニスコートがあることです。私達の宮城県ではどうでしょうか。この2～3年来、仙台市が市営コートの整備にのりだして、少しずつ成果があがってきているようですが、全国大会を開ける規模のものではありません。一方、宮城野原県営コートは、テニス協会の公式試合が行なわれる、宮城県を代表するコートです。しかし、整備がわるく、年々コートが荒れていくような感じがしています。先月開かれた宮城県春季トーナメントの時に、私自身が試合をしたコートは、やゝ凸凹

目 次

二年目にあたり	委員長 神吉寛一 .. 1
〈寄稿〉	
宮城野原県営テニスコートの整備・拡充を願って	
安田 勇 ..	1
テニスを始めて一年半	酒井 倭子 .. 2
初めて優勝カップを手にして ...	
松坂 真砂子 ..	3
4円のラケットで始まったテニス人生 ...	
藤崎 春雄 ..	3
シリーズ「より楽しいテニスを」 ...	
高橋 龍夫 ..	4
テニス大会年間予定表	6
〈競技記録〉	7
〈お知らせ〉	10

のうえに、基礎に敷いたコークスの'炭から'が表面に出てきているほどでした。そのうえ、ここのクレイコートは水はけがとくにわるく、木曜日に雨が降れば土曜日は使えないといった状態で、昨年などは、テニス協会が大会運営に苦勞していたようでした。またハードコートには亀裂が入り、近い将来、敷石の上でテニスをするようなことにならないとよいと思っています。

テニス大会を盛んなものにする要素として、施設、運営、観衆があげられています。県営コートで開かれる大会は、このまゝですと、盛り上がりのない大会になり、日ごろ精進している若い選手諸君のテニスにたいする情熱を失わせる引き金になるのではないかと心配しています。

このような状態の県営コートも、陸上競技場と共に、昭和64年度全国高校総体開催のため、当然大改修されるものと私は期待していましたが、テニスは泉市で開かれることになり、大改修の計画がないことがはっきりして全くがっかりしました。

宮城県はことにテニスコートに関しては、すっかりプライベートテニスクラブに依存しており、その基盤がもろいのではないかと考えられます。なぜなら、プライベートテニスクラブは採算がとれなければ、テニスコートを他に転用し、クラブを廃止してしまうことができるからです。このため、公的機関によるテニスコートの充実、とりわけ、宮城野原県営テニスコートの整備、拡充が必要になってくるわけです。

そこで、私達壮年テニス連盟がイニシアティブをとり、連盟の人脈をたよりにして、宮城県、宮城県体育協会と接触し、さらに宮城県庭球協会と協力して、各テニス団体と意志の統一をはかり、宮城野原県営テニスコートの大改修の糸ぐちをつけるわけにはいかないでしょうか。是非、運営委員会の話題にさせていただけたらと思っています。この運動が進んで、コートの運営および管理する協議会ができ、そこに壮年テニス連盟が参加するならば、渡辺博茂さんの'私達のテニスコート'の構想が、実現に近づくのではないかと考えています。

会報第3号の原稿を依頼された機会に、私の考えていることを書いてみました。一日も早く、宮城野原県営コートが整備拡充され、全日本ベテラン選手権が宮城県で開催されるよう願っています。

テニスを始めて一年半

南インター 酒井 倭子

テニスというと昔者のスポーツと思っていた私でしたが、主人からテニスをしないかと言われ、やり始めたのが一年半前、テニスとはこんなに面白くやりだしたら止められないスポーツであることを初めて知りました。ソフトボールは十年以上もやってきましたが、こんなに夢中になりませんでした。

最初は主人と二人で楽しめればと思っていましたが、少しづつやって行くうちに上手になりたいと思うし、一つのことを覚えると楽しくなり、ゲームをやれば勝ちたいと夢中で駆けまわり、とうとうテニスの虜になってしまいました。いまはテニスをするのが日課となり、また土、日などは主人と一緒に楽しんでます。我が家の夕食時にテニスの話が出ない日はありません。

壮年テニス連盟に入って一番嬉しかったことは、新米である私を一人前のプレーヤーとして、皆さん声をかけて下さったり、ゲームの相手になっていたことでした。同じ壮年といってもテニス暦はいろいろです。それなのに皆さん親切に教えて下さいました。二月、三月の定例会は、冬のスポーツが少ない時期なのでとても楽しく参加することができました。

今後のお願いです、ヘアを自分で探して願うのはなかなか出来ないで、事務局の方でなたかとヘアを組んでいただくと助かります。その辺のところを宜しくお願いしたいと思います。

いつまでも元気でテニスが出来るように、今のうちにテニスの基本をしっかり身につけ、私の生涯の友として末永くやっていきたいと思っています。

(編集係から付記：酒井さんは新入会員の松坂さんと組み、6月21日の年齢別大会で女子40才以上ダブルスに見事全勝優勝されました。)



初めて優勝カップ

を手にして

南インター 松坂真砂子

生まれてこの方、さほど運動が得意でなかった私には、スポーツで賞を受けた記憶は殆どない。その私が、ふとしたきっかけでテニスを始め、性に合っていたのか夢中になり、以来2~3回メダルや楯を戴いたことがある。尤も、くじ運がよくて3位になったり、パートナーが抜群の腕前だったことなどに負うところが多く、私自身の賞獲得への貢献度は僅かなものだった。それも3位か、良くても準優勝どまりで、私には優勝などというタイトルは無縁のものと、いつからか思うようになっていた。

その私が、6月21日に行なわれた年齢別ダブルス大会の女子40才以上の部で、まさかと思う優勝をなしとげ、賞状と優勝カップを戴いた。試合の前日まで気が重く、ミスをしてパートナー(酒井さん)に迷惑かけたらどうしよう、このまゝ雨が降り続いて中止にならないかな、と秘かに願っていたのに、夕方全日程が終わってみたら、5戦全勝という結果になっていて、全く信じられない思いだった。優勝カップと賞状を前にして、しばし呆然としてしまった。後日、上山先生が、「酒井さんは、あの日は丁寧にボールを打っていた」とおっしゃっていたが、試合慣れない私と組んで、彼女はかなり心労だったのだろうと恐縮してしまった。

私は数年前から自宅近くのテニススクールに通っているが、最近、加齢現象のせいか、走れない、ボールを追うのに執着しない(つまりすぐ諦める)などの欠点が目立ちはじめ、いつとはなしにゲームをするのが億劫になっていた。そんな時、友人の勧めで、壮年テニス連盟に恐る恐る参加してみたところ、メンバーの多彩さ、和やかさが居心地よく、私のペースでのびのびゲームできる楽しさを味わえたのである。そんなこともあって、今回誘われるまゝに試合に出場したわけだが、思いがけぬ成績に、また、やみつきになりそうな気がしている。今後共、どうぞよろしく。

4円のラケットで

始まったテニス人生

東北大職員ク 藤崎春雄

あるOBテニスの会で汗をかいた後の、ビールの席のことでした。我が壮年テニス連盟の幅の広さと、奥の深さを知り、また、テニスを通しての豊かな人生の彩りを見るような話題がありましたので、こゝにご紹介させていただきます。それは、70才を越えても、なお、マイペースでテニスを楽しんでおられるTさんと、Y先生のお話の一節です。

今をさかのぼること60年、昭和の初期、Tさんは台湾の新竹省、中れき小学校6年当時、普通のラケットが1円50銭のときに、お父さんから、4円のラケットを買っていただいた感動は、今でも忘れないとのこと。幼な心にも、このフンパツした親心と、破格の高価なラケットを握りしめて、ジュニアの大会に参加、連戦連勝、当時台湾のトップを誇り、自他共にNo.1と任じていた、南しょう中学の選手を、ものの見事に打ち破り、優勝の栄冠を獲得されたそうです。Tさんのテニス人生はこゝから始まり、幾多の輝かしい戦績を残されましたが、44才の時に硬式テニスに転向、軟式で鍛えた持ち前の粘り、出足の早さ、左右に打ち分ける曲せ球で、たちまち県の壮年テニスの最前線に躍り出て、その後、都市対抗、国体参加の経歴を重ねておられます。Tさんの親しみ易さは、初心者をはじめ、どんなレベルの人とも真剣に相手をしてくれ、実にユーモラスな表現で、懇切に指導された上、ご自身が体験された幼な心の感動の味を、我々壮年テニスのものにも適当に誘発させてくれることです。時には、さびしいお言葉もありますが、自分の良さを少しでもほめられると悪い気がしないようで、したがって、テニスの後は爽やかな気分、冷たいビールで談論風発というコースを辿ることもしばしばというわけです。宮城県のテニスが、もっと、きびしく、強く、そして楽しくなるため、父親として、祖父として、後進に感動を与える環境作りが急務であることを力説されます。

Tさんとの会話を、そばでにこやかに聞いておられたY先生は、その日も健闘されて、ダブルスの2リーグの一方で優勝されましたが、懐かしそうに往

時を偲び、次のようなお話をされました。先生が硬式を始められた旧制高校時代には、米1俵(60kg)10円のとときに、硬式ラケットが10円、ボールはフランスのスラセンジャーのものだけに限られ、1個1円50銭もしたそうで(軟式ボールは30銭以下)、テニスは、一般の人にはとても手のだせない、ぜいたくなスポーツであったそうです。たとえば、後年、世界のトップレベルで活躍し、欧州遠征の途次、マラッカ海峡に身を投じた早大の名プレイヤー、佐藤次郎選手の補欠時代、先生は共に練習されたそうですが、たまにニューボールが使えると、全身に緊張を覚える喜びを味わったそうです。先生は、小学校4年生のときに、和服の羽織、袴、素足といういでたちでコートに立ち、軟式テニスを始められたそうです。以来、硬式テニスも通して、すでに70年のテニス人生を送られておりますが、二度の大病、大手術にもくじけられなかった要因は、テニスの試合での自己練成と、スポーツを通しての、割切った明朗さにあったと語っておられます。念願の80才までのテニスは、来年達成できそうだが、85才までの新記録もできたら達成したいとお言葉です。

幸い、誰でも手軽にテニスを楽しめる時代になりましたが、我々壮年テニス連盟のものにとって、羨ましい程のテニスの楽しみ方を、身をもって実行されておられるお二方の、益々のご健勝をお祈りし、壮年テニスの明るい燈火とも言える素晴らしいテニス人生の一端をご紹介させて頂きました。

シリーズ

「より楽しいテニスを」

高橋龍夫

No.1 "テニスのゲームにおいて「ジャストアウト」というコールはありません"

皆さんは「コートの友」という文字や言葉を見たり聞いたりしたことがおありですか。筋肉痛の特効薬か清涼飲料水の商品名のような感じもします。「縦175mm、横104mm、厚さ10mmのスゴイヤツ」と言えばTVのコマーシャルにも登場して来そうな気もしますし、年ごとにその装いに流行色をとり入れ内容の充実度を増しているモノと聞けば、期待感が大きく膨らんできそうです。実は、このシロモノ、日本テニス協会が毎年表皮の色をかえて発行している「テニス・ルール・ハンドブック」の名称なのです。第1部から第4部までと、若干の付録記事から出来ており、「テニス規則」「トーナメント諸規則」「テニス選手倫理規定」「審判に対する助言と注意」とが

順次、一、二の事例を挙げて、注釈付きで書かれています。「テニスの規則なんて！何を今さら。もう何十年もテニスのゲームをしているんだよ。」「スポーツをするのに倫理規定などというものがいいのかしら？」等々と言われる方々もおられると思います。この答えを見付け出すために、「より楽しいテニスを」シリーズを通して、皆さんと一緒に考えてゆきたいと思います。

テニスはこの四半世紀のあいだに大きな変貌を遂げたことは、皆さんもご承知の通りです。純毛で純白であったボールが、おゝかた、黄色やオレンジ色にかわり、なかには理髪店の看板のようなものまであります。降雨の後はローラーを引き、ゲームの前には石灰でラインを引き、コートブラシをかけることが当たり前であったコートがオールウェザーコートにかわり、ネットをたたむ収納作業もほとんどありません。帽子から靴下まで白一色のウェアも、カラフルなものとなりました。ラケットもウッドやバンパーからメタルへ、そしてグラフィイトや宇宙素材のポロンやケブラーへとかわり、その形と大きさも著しい変化をしました。初心者にとっては、テニスがより易しく、また「テニス肘」の心配も少なくなりました。上級者には、よりパワフルでスピーディーな近代テニスが自分のものになる可能性が大きくなりました。ラケットを持ち、高価なテニスウェアを着て街を歩くだけの人達から、各種のスポンサー杯のトーナメントや選手権の試合に出場する人々までを含めて、テニス仲間が増えてゆくことは非常にうれしい気がいたします。

県内にも沢山のテニスクラブやテニススクールが出来て、テニスの技術も急速に進歩し、さまざまな大会において、老若男女を問わず各所に熱戦がくりひろげられ、我々壮年テニス連盟でのお楽しみ会においても、高度のプレーが随所に見られます。しかし、一寸お待ちください。喜んでばかりはいられない現象がところどころに見られるのに気付くのです。試合中にコートの後ろを歩いたり、コートサイドで大声を出したり、笑い声を立てたり、というマナーの悪さについては別の機会にとり上げることにして、このシリーズではもう少し別の面での問題点のいくつかを考えて行きたいと思います。

最初にとり上げるのが、セルフ・ジャッジ制のゲームにおいて時々聞かれる「ジャストアウト」あるいは「ジャスト」というコールです。「何だ！そんな事か」などとおっしゃらないで下さい。実はこのコールは、セルフ・ジャッジ制のゲームにおいて重大な問

題を含んでいるのです。ある時、女性プレーヤーのZさん（「ジャスト」というコールが口癖のようです）に、「『ジャスト』という意味は何ですか？」と聞いてみました。その人は、「何を聞くのよ！」とばかりに、「勿論『ジャストアウト』のことですよ。面倒だから『ジャスト』と省略しているのよ。私が教えてもらったコーチも『ジャスト』といつも言っていたわ」と答えてくれました。Zさんは2つの間違いを、それもそのうちの1つは重大な間違いを犯しているのに気がついていないのです。皆さんの中には、もう正しい答がお解りの方もいらっしゃるでしょう。「2つの間違いは気付かないけれど1つは解るよ」と言う方もおられるでしょう。（誰ですか？「間違っはしませんよ！」などと言う人は。）

そうです。テニスのコールには、「ジャスト」あるいは「ジャストアウト」というコールはないのです。「アウト(out)」（サーブの場合は「フォルト(fault)」）だけなのです。クラブや学校のコーチが「ジャスト」というのは、多分、お客さんに対して冷たく、「アウト」というコールは気の毒であるから、「もう少しでしたよ、50cmも1mもアウトしたボールではありませんでしたよ、頑張りましょう」と優しく、励ましの気持ちを込めた呼びかけであると推測します。そして、次の2番目の間違いが重大なのです。もしもこのコールが、50cmも1mもアウトしたボールに対してなされたものではなく、「まさしく、ラインの丁度外側に落ちたと思われるボールであった」という意味をもってなされたものとするならば（「ジャストアウト」のコールをこういう場合に用いるものと思っておられる方が多いのではないのでしょうか）、これがまさに問題なのです。セルフ・ジャッジ方式は、元来、アンパイヤー、ラインズマンがなすべきイン・アウトの判定を、選手自らが代わってするものであり、自分(達)のコートにおける判定を、自分(達)の責任のもとに、権限をもって行なうものです。（セルフ・ジャッジ制の可否については別の機会に述べたいと思います。）従って、「アウト」のコールは、そのボールが「明らかにアウトラインの外側に落ちた」と確認出来る場合にのみなされるべきものです。「丁度ラインの外側に落ちた」という判定は、人間業では不可能であるはずなのです。「丁度ラインの外側に落ちた」と思われるボールは「アウト」ではないのです。別のあるプレーヤーYさんが「セルフ・ジャッジ制になってから、自分側のコートが横方向に5cm、縦方向に10cmづつ大きくなったような気がするよ」と言いました。確

かにそのような気もしますが、本当は、「自分側のコートだけでなく、コート全体が大きくなったような気がする」という表現が正しいのではないのでしょうか。

セルフ・ジャッジ制採用のゲームでは、誤った判定の起きる可能性は大きくなったと思われます。しかし、誤った判定は、相手だけがしているものではなく、自分もしていることを、しっかりと認知することが大切であると思われます。「あのプレーヤーはいつでも、アウトかインか判定の難しいボールをアウトにしてしまう」といわれている悪評判の高いプレーヤーもいらっしゃるようにも聞きますが、あまり楽しい話ではありません。また、きわどいボールの判定や、ボールの落下点がよく見えなかった場合に、観客に助言を求めるプレーヤーも時々見受けられます。他人に助言を求めないで判定出来ないボールは全て、「アウトではない」ということを銘記すべきです。まして、相手の下した「アウト」の判定に対して、「そのボールはアウトではないよ」とクレームをつけるのも良くありません。（ボールの落下した跡が明らかに指摘出来る場合は別ですが。）さあ、皆さん！ 私達の壮年テニス連盟では、爽やかな「アウト」コールでテニスをより楽しいものにしましょう。

日本テニス協会がセルフ・ジャッジ制を採用するにあたっては、「敗者審判制」の悪習排除がその目的であったように聞いております。テニスの試合に、「審判は必要ではない。セルフ・ジャッジ制で十分である」と判断しているわけでもありません。

卓越した審判技術とルールに対する深い知識、そして、豊かなテニス経験をもつ審判によって試合が進行されるならば、プレーヤーは「アウト」「イン」の判定に神経を擦り減らすことなく、プレーに専念出来ることは言うまでもありません。常時、優秀な審判をつけることは、現段階では経済的な面からも不可能のようです。しかし、前記の諸条件を備えた人々が、自ら審判をかって出るとは、非常に喜ばしいことであると思われます。外国ではボランティア活動の一環として、無給の審判員制度があるようにも聞きます。宗教的背景が異なりますから、我国の実情と端的に比較出来ませんが、壮年テニス連盟の一部の方々に、この活動を期待出来るのではないかと私は考えています。

さて、次回のシリーズ No. 2では、「テニスのポイントにやり直しはありません」をお送りします。

昭和62年度宮城県壮年テニス連盟
テニス大会年間予定表

宮城県壮年テニス連盟			宮城県，仙台市テニス協会関係		
月	日		月	日	
4	26	月例会	4	11.12	東北ヤマハ杯ダブルス SUGO, M;45, W;40
5	24	<u>年齢別大会</u>	5	2, 3, 4, 9, 10 19, 20	県春期トーナメント, 宮城野原 M;45(S, D), 55(D) 桑名杯三菱レディース 初心者 D
6	21	月例会	6	13, 14, 15 13, 20, 21, 27, 28	IBM 県予選 S 市民大会 M;45, S, D
7	19	月例会	7	11, 12, 13 30, 31	国体県予選 M;45(S, D) 東北ベテラン選手権 M;45, 50, 55(S, D) 60(D) W;40, 45(S, D) 50(D)
8	23	<u>ミックス大会</u>	8	1, 2	県民大会 M;45(S, D)
9	15 20	いわきベテランテニスクラブ との親善試合(いわき市) 宮城県女子テニス連盟対抗戦	9	5, 6 26, 27	朝日レディース 県予選 東北ヨネックスシングルス 大会 M;45(S)
10	11	<u>技量別大会</u>	10	3, 4, 5 26, 27	県選手権大会 M;45, 55(S, D), W;40(S, D) 県レディース
11	8	月例会			
12 ~ 3		室内大会	1 2	中旬 下旬	県室内ダブルス大会 M;45 東北室内ダブルス大会 M;45

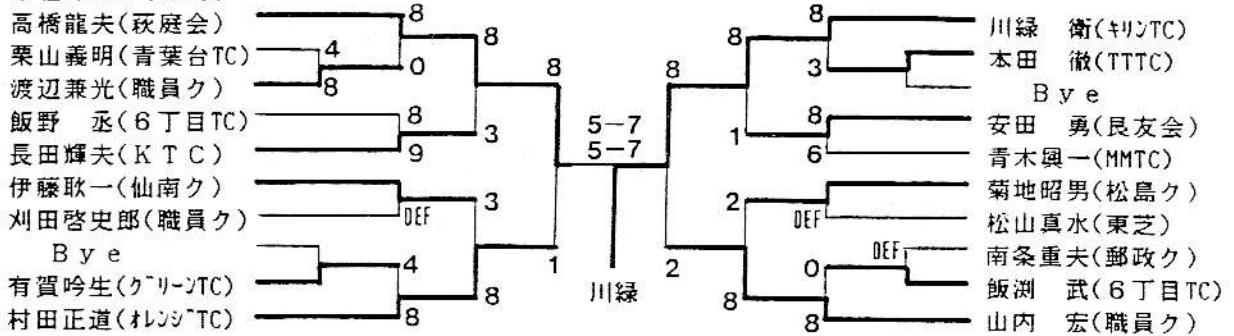
宮城県壮年テニス連盟の各大会の会場は市営青葉山公園庭球場を予定しております。
記号** M~男子、W~女子、S~シングルス、D~ダブルス

◇ 競技会記録 ◇

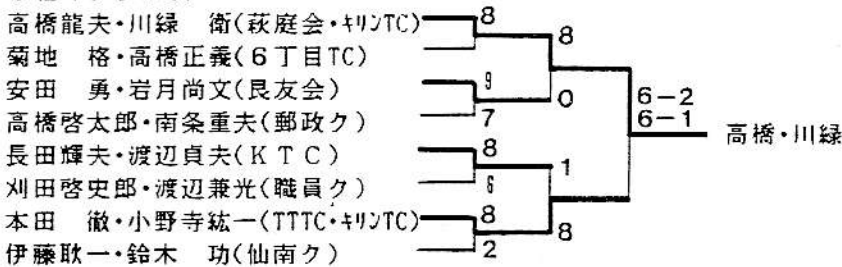
第10回 宮城県春期テニストーナメント

(壮年関係) 5月4,9,10日

◆壮年シングルス



◆壮年ダブルス



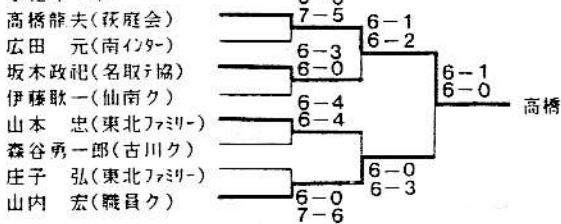
◆老壮ダブルス

	高橋・中村	山本・庄子	川上・上山	勝 敗	順位
高橋良昌・中村克宏(泉ハクTC)		8-0(Def)	8-3	2-0	1
山本 忠・庄子 弘(東北ファミリ)	Def(0-8)		2-8	0-2	3
川上秀之・上山 弘(南イタ-TC)	3-8	8-2		1-1	2

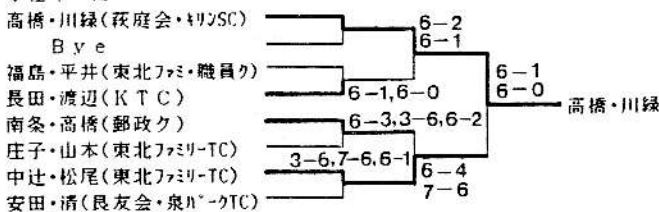
第5回 宮城県選抜
室内テニストーナメント

(壮年関係) 1月24,25日 仙台市立体育館

◆壮年・単



◆壮年・複



◆第1回 Weekday交歓会・講習会

6月4日、東北電力総合研究所のご好意により、同所コートで今年度第1回交歓会、講習会を開きました。講師は 山内宏氏で、電力アパートの奥様方も参加し、真夏のような絶好の天気にも恵まれて一日を楽しく過ごしました。

参加者 男子13名、女子17名。

第2回年齢別ダブルス大会

6月21日 青葉山公園庭球場

今年度最初のメインイベント、年齢別ダブルス大会は、当初予定の5月24日はコートコンディション不良のため6月21日に延期され、青葉山公園コートで開催された。この日も雨上がりのため、コートは3面しか使えず、急遽、競技開始を遅らせ、4ゲーム先取マッチに予定を変更して決行された。参加数が少なく、5才刻みの年齢区分では試合の成立しない年齢層もできたので、その層は、やむなく年齢の若い層に併合してリーグが構成された。熱戦の結果、

女子 40才以上 酒井・松坂組 45才以上 井沢・石川組

男子 45才以上 長田・渡辺組 50才以上 嶋田・中村組 60才以上 新藤・武田組

がそれぞれ優勝を飾り、各組に優勝杯(今年から持回り用として用意)が授与された。

▼女子40才以上・45才以上ダブルス (総当たりリーグ戦を行い、順位は各年齢層別につける)

	菊・平	坂・今	井・石	岡・石	佐・小	酒・松	勝 敗	順位	
菊田絢子・平井郁子		4-1	3-4	4-1	4-3	0-4	3-2	2	45 以上
坂爪ミヤ・今野ミチ	1-4		1-4	2-4	2-4	0-4	0-5	4	
井沢三幸・石川トヨ子	4-3	4-1		4-1	4-1	0-4	4-1	1	
岡崎幸子・石島聡美	1-4	4-2	1-4		4-3	1-4	2-3	3	40 以上
佐藤洋子・小林とよ子	3-4	4-2	1-4	3-4		2-4	1-4	2	
酒井優子・松坂真砂子	4-0	4-0	4-0	4-1	4-2		5-0	1	

▼男子45才以上ダブルス <A組>

	西・高	長・渡	小・高	菊・長	遠・山	勝 敗	順位
西宮 進・高橋捷夫		0-4	2-4	0-4	1-4	0-4	5
長田輝夫・渡辺貞夫	4-0		2-4	4-0	4-1	3-1	1
小野寺統一・高橋昌明	4-2	4-2		3-4	4-3	3-1	2
菊地新喜・長谷川信夫	4-0	0-4	4-3		2-4	2-2	4
遠藤一博・山内 宏	4-1	1-4	3-4	4-2		2-2	3

<B組>

	大・鈴	青・井	川・高	志・五	小・斉	勝 敗	順位
大賀延行・鈴木 功		3-4	0-4	4-3		1-2	3
青木興一・井沢秀雄	4-3		2-4	0-4		1-2	4
川口温弘・高橋正義	4-0	4-2		3-4		2-1	1
志間弘治・五島健雄	3-4	4-0	4-3			2-1	2
小林卓也・斉藤昭男						棄権	

(註)A, B組とも、同勝率の場合は別掲のルール(今年からの申合わせ)により、勝ゲーム率の高い者が上位となる

<決勝トーナメント>

(A組1位) 長田・渡辺	4	4	
(B組2位) 志間・五島	3		長田
(A組2位) 小野寺・高橋	2		渡辺
(B組1位) 川口・高橋	4	1	

<3位決定戦>

志間・五島	3	小野寺
小野寺・高橋	4	高橋

<下位トーナメント>

青木・井沢	0	遠藤
遠藤・山内	4	山内

▼男子50才以上ダブルス

	石・平	嶋・中	渡・松	下・山	谷・近	勝 敗	順位
石島希男・平井正光		5-6	6-1	3-6	1-6	1-3	4
嶋田 鼎・中村克宏	6-5		6-5	6-3	6-2	4-0	1
渡辺博茂・松本朝光	1-6	5-6		4-6	4-6	0-4	5
下山 修・山本幸一	6-3	3-6	6-4		2-6	2-2	3
谷岡勝宏・近 晴雄	6-1	2-6	6-4	6-2		3-1	2

▼男子60才以上ダブルス <A組>

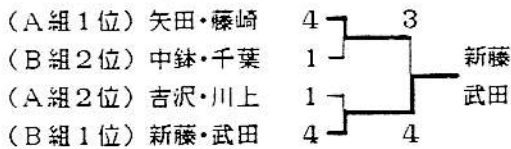
	瀬・花	吉・川	久・室	矢・藤	勝 敗	順位
瀬野尾秩・花洲武雄		2-4	3-4	1-4	0-3	4
吉沢幸雄・川上秀之	4-2		2-4	4-2	2-1	2
久保寿一・室賀 創	4-3	4-2		1-4	2-1	3
矢田慶治・藤崎春雄	4-1	2-4	4-1		2-1	1

(註) 同勝率3者の順位は勝ゲーム率による

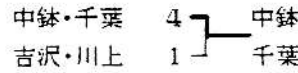
<B組>

	新・武	中・千	上・伊	笹・多	勝 敗	順位
新藤英雄・武田満雄		4-3	4-2		2-0	1
中鉢不二男・千葉実	3-4		4-1		1-1	2
上山 弘・伊藤一利	2-4	1-4			0-2	3
笹野正二・多久堯夫					棄権	

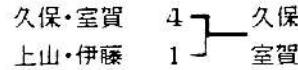
<決勝トーナメント>



<3位決定戦>



<下位トーナメント>



第1回月例会 記録

7月5日(日) 宮城野原県営コート

朝方また雨にたゝられ開催が危ぶまれたが、参集した熱心なファンはハードコートの水を拭きながら、10時頃頃からゲームを開始した。午後は晴れ間も見られ、久しぶりの月例会を楽しむことができた。

- | | | | |
|---------------|------------|---------------|------------|
| 中村克宏・松山真水 6-5 | 大賀延行・長田輝雄 | 久保寿一・室賀 創 6-5 | 中村克宏・高橋恒男 |
| 川上秀之・八尾圭子 6-5 | 酒井秀章・倭子 | 大賀延行・長田輝雄 6-3 | 菊地新喜・長谷川信夫 |
| 松山真水・井沢秀雄 6-2 | 大賀延行・長田輝雄 | 近 春雄・伊藤一利 6-2 | 菅野義治・小関精彦 |
| 川上秀之・八尾圭子 6-3 | 新藤英雄・坂爪ミヤ | 川上秀之・高橋龍夫 6-2 | 上山 弘・高橋昌明 |
| 新藤英雄・坂爪ミヤ 6-5 | 渡辺民朗・山田利一 | 酒井秀章・倭子 6-2 | 新藤英雄・坂爪ミヤ |
| 久保寿一・室賀 創 6-5 | 近 春雄・伊藤一利 | 大高幸子・菅野志津 6-3 | 高橋明子・八尾圭子 |
| 上山 弘・高橋昌明 6-2 | 武田満雄・渡辺三郎 | 松山真水・井沢秀雄 6-5 | 川口温弘・武田満雄 |
| 菅野義治・志津子 6-2 | 中村克宏・酒井倭子 | 渡辺民朗・山田利一 | 武田孝子・酒井秀章 |
| 酒井秀章・小関精彦 6-5 | 渡辺民朗・山田利一 | 久保寿一・室賀 創 6-3 | 菊地新喜・長谷川信夫 |
| 小関精彦・井沢三幸 6-2 | 高橋恒男・明子 | 大賀延行・長田輝雄 6-5 | 上山 弘・高橋昌明 |
| 近 春雄・伊藤一利 6-2 | 武田満雄・渡辺三郎 | 菅野志津・石川トヨ 6-3 | 酒井倭子・井沢三幸 |
| 上山 弘・高橋昌明 6-3 | 菊地新喜・長谷川信夫 | 中村克宏・大高幸子 6-5 | 川上秀之・八尾圭子 |
| 川上秀之・高橋龍夫 6-1 | 松山真水・井沢秀雄 | 新藤英雄・上山 弘 6-3 | 菅野義治・小関精彦 |
| 新藤英雄・菅野義治 6-0 | 渡辺民朗・山田利一 | 近 春雄・伊藤一利 6-4 | 川口温弘・武田満雄 |
| 松坂真砂子・八尾圭 6-2 | 大高幸子・坂爪ミヤ | 酒井倭子・武田孝子 6-2 | 井沢三幸・坂爪ミヤ |
| 高橋明子・菅野志津 6-0 | 石川トヨ子・井沢三幸 | | |

◇ お知らせ ◇

会員異動 (7月9日まで受付分)

◆今年になってから、次の方々が加盟されましたのでご紹介します。

氏名	勤務先	所属クラブ
飯 淵 武	日本舗道	六丁目TC
石 川 トヨ子	山武北山建設	
伊 藤 一 利		キリンSC
遠 藤 一 博		
大 高 弘		
大 高 幸 子		
小野寺 攻	江合川工事所	
加 藤 悦 子		
菊 地 昭 男	航空自衛隊	松島クラブ
小 林 とよ子		
近 晴 雄	三菱樹脂	
今 野 喜 一	ホンダクリオ	
今 野 ミ 子		
佐 藤 勇	宮城県会議員	
佐 藤 洋 子		
清 水 英 子		
高 橋 捷 夫	東北電力	
高 橋 正 義	東北愛犬学院	六丁目TC
田 中 秀 之	東北金属	
田 中 英 子		
中 村 孝 史	日本銀行仙台	南イタ-TC
中 村 経 子		南イタ-TC
松 坂 真砂子	西多賀病院	南イタ-TC
室 賀 創		
山 田 利 一	河北新報社友	

◆次の方々は退会されました。

庄子仁男(都合) 中辻吉郎(転勤) 広田 元、広田正子(転勤)
松尾正親、松尾正子(転勤) 丸山 潔(都合)

第2回委員総会 開催

第2回(昭和62年度前期)委員総会は去る3月28日(土)午後4時から東北大学科学計測研究所の中会議室で開かれました。会議の主な経過をご報告します。

◆出席者 神吉寛一委員長

(クラブ等グループの代表委員) 飯野雅(菰庭会)、高橋昌明(東北大職ク・石亀代理)、長田(東北大職ク)、菅野志津子(泉パークランドTC)、渋谷陽子(南インターTC)、玉置康雄(南インターTC)、中鉢不二男(青葉台TC)、松尾正親(東北ファミリーTC)、渡辺博茂(丸田沢TC)

(運営委員) 青木興一、上山弘、久保寿一、新藤英雄、中村克宏 (幹事) 高橋龍夫、山内宏

◆神吉委員長から、挨拶に続き、今年度から新たに川口温弘、久保寿一、新藤英雄の三氏が運営委員に加わったことの紹介があった。

◆61年度決算 運営委員会から別掲の61年度決算(案)の説明があり、原案の通り承認された。

◆62年度競技会スケジュール 運営委員会から別表記載の今年度当連盟の競技会スケジュール(案)の説明があり、原案の通り承認された。

◆会報名簿の発行計画 今年は会報を2回、名簿を1回発行する計画が了承された。

◆62年度予算 運営委員会から別掲の今年度予算(案)の説明があり、今年度の年会費を昨年と同じく単独会員2,000円、家族会員(二人)3,000円とすることを含めて、原案の通り承認された。

◆リーグ戦に於ける同勝率者の順位について 前回の総会の協議結果に基づき、当連盟規約第13条に従い、標記の規定を設けるため、別掲の運営委員会(案)が提案され、当分の間は註記を付記することを含め原案の通り承認された。

◆その他の協議事項 自由に意見の交換を行なったが、そのうち出席者の比較的纏まった意向は次の通りであった。

①審判について 公式戦では全日本のセミファイナル以上をのぞきセルフジャッジが原則であり、もし審判が必要な時は大会レフェリーから指名された者だけが審判を務め得ることになっているそうであるが、我々壮年連盟内のゲームではセルフジャッジでも、適当に誰かに頼んでも構わない。何故セルフジャッジが世界の趨勢となったかについて、次の会報に高橋幹事の解説記事を載せる。

②優勝カップについて メインイベントの大会の優勝者に回りもちのカップを出すことを検討してもよいのではないかと。全部の大会のカップを一挙に用

意できなければ、逐年段階的に準備するのも一案であろうか。等々の意見交換を行なった。

③ダブルス大会の参加申し込みについて ペアで申し込みれば競技会の世話幹事は楽であるが、単独の申し込みも勿論結構である。ただし、単独の場合、誰と組むかは世話幹事に任せるとして、A級に加わりたいかC級に出たいかなど具体的な希望が付け加えてあれば世話の対処がし易い。単独申し込み者のパートナーを折角予定したのに、当日連絡なく欠場すると非常に迷惑が波及することを会員の常識として理解を広げたい。

リーグ戦に於ける同勝率者の 順位について (当連盟内規)

標記の順位決定方法が、昭和62年3月28日開催の第2回委員総会において、当連盟規約第13条に基づく細則として、以下のように決定承認されました。

同勝率の者のうち勝ゲーム率(勝ゲーム数/全ゲーム数)の高い順とし、それでも同じの場合は年齢(ダブルスの場合2人の合計)の高い者を上位とする。

(註) 勝ゲーム率の順は、(勝ゲーム数)/(負ゲーム数)比の高い順としても変わらないので、順位だけを定める場合は簡便な方法を用いてもよい。

◆Weekday交歓会・講習会 の簡易連絡システムについて

講習会・Weekday交歓会のお知らせは、今後も可能な限り、従来どおり事務局から郵便で送ってほしいところですが、事務局でさばき得る事務能力には限界もあるでしょうし、特に急な話に対処してもらうことは難しいと思います。そこで、6月4日の交歓会の折に、参加者が以下のような相談をしました。それは、ある程度は交歓会・講習会ファン自身で自発的に、気軽に集まってテニスを楽しもう、ということです。そのため、次の連絡係を決めておき、もし何かのコートが急に確保できたとき、連絡係は直ちに互いに連絡をとりあい、各連絡係に予め連絡を依頼していた人達に、それぞれ通知するという連絡システムです。壮年テニス連盟を通じて知り合った仲間が、こうして気軽に集まってテニスを楽しむ機会が増えれば幸いです。通報希望の方は、下記連絡係の一人にその旨を伝えておいてください。

連絡係	住 所	電 話
伊藤一利	981-31 泉市鶴ヶ丘 1-8-12	373-9500
大賀延行	980 仙台市桜ヶ丘 6-10-2	278-3980
上山 弘	980 仙台市一番町2-11-12-901	266-6076
川上秀行	980 仙台市北山 3-5-9	234-4813
菊田綱子	980 仙台市二日町 17-29	223-3352
今野ミチ	982 仙台市松ヶ丘 10-22	229-1769
新藤英雄	980 仙台市滝道 33-12	278-3541
中鉢不二男	983 仙台市東宮城野4-1-905	283-2774
山内 宏	982 仙台市恵和町 28-10	229-1016

いわきベテランテニスクラブ との親善試合について

福島県いわき市に、我々壮年テニス連盟と似たような組織があり、発足して6年目を迎えるそうですが、我々と親善試合をしたいという申し入れが昨年秋ごろありました。先方のクラブ員は、時々集まって強化トレーニングなどにもしていると聞きますから、我々よりは少し本格的なグループかもしれません。しかし、隣の県のベテラン テニス プレーヤーとも親善の輪を広げようとの御趣旨には、我々としても異存はなく、年初来、運営委員会でも、先方と打合わせをしながら検討してまいりました。その結果、来たる9月15日、敬老の日を期して親善試合を行なうことに決定しました。会場は、小名浜カントリークラブ所有のテニスコートで、宿泊設備も整っているとのことです。たまに、懇親旅行を兼ねて、大勢、ご参加くださるようお願い致します。詳細は後日お知らせ致します。

◆昭和62年度役員および役割分担

61年12月6日開催の委員総会において、下記の運営委員が選出されました。また、今年度第1回運営委員会(1月22日開催)において、下表のように委員長、副委員長、役割分担を決め、幹事2名が委嘱されました。

委員長	神吉 寛一	
副委員長	上山 弘	総務
運営委員	青木 興一	競技会(主任)
	川口 温弘	競技会
	久保 寿一	総務
	新藤 英雄	競技会
	中村 克宏	競技会
	藤崎 春雄	総務
	山本 忠	会計
幹事	高橋 龍夫	庶務会計
	山内 宏	競技会

編集発行 宮城県壮年テニス連盟運営委員会